

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路維持補修事業						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
【事業目的】 市道及び道路附属施設等の維持補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る。
【事業概要】 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の補修など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所の報告を促すなど、市職員の生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
補修処理率	%	96.5	94.5	96.5	96.5
パトロール実施回数(月2回)	回	24	24	24	24

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路長寿命化事業			←				施工					完成
橋りょう長寿命化事業				←			施工					完成
横断歩道橋長寿命化事業		←					施工					完成
進捗状況	○通年による維持補修 補修実施箇所(令和8年3月末時点) 受付件数: 677件 処理件数: 640件 道路パトロールの実施 24回 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。 ○計画的維持管理 道路長寿命化対策事業(舗装修繕工事 戸頭地内他3路線) 令和8年3月完成 橋りょう長寿命化事業(R7橋梁定期点検業務委託 69橋) 令和8年3月完成 横断歩道橋長寿命化事業(R7取手駅西ロデッキ橋補修工事) 令和8年3月完成										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	・今後も補修要望については迅速に対応していく。 ・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロールを実施して監視体制の強化を図る。 ・市職員へ通勤時及び公務中における街路樹や道路陥没等の情報提供について、周知徹底を図り、事故を未然に防ぐ。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	40,067	57,461	28,274	R7事業費(実績)については、【道路維持補修に要する経費】に計上されていた道路清掃委託料や街路樹管理委託料等の道路管理に要する費用を【道路管理に要する経費】に計上した結果、226,765千円の減額となった。
	県支出金				
	地方債	97,700	85,400	85,100	
	その他	14,052	1,951	2,262	
	一般財源	289,120	69,253	103,053	
事業費計(A)		440,939	214,065	218,689	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	13,440	13,440	13,440	
	その他職員人件費	12,317			
人件費計(B)		55,513	44,742	46,368	
トータルコスト(A+B)		496,452	258,807	265,057	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路等管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
市民の財産である道路・河川等を適正に管理することにより、信頼ある行政運営を図る。 ・安全な道路空間の確保のため、道路施設等（側溝・街路樹など）の維持管理を行う。 ・道路用地の草刈りなどを行い、適正な維持管理を行う。 ・道路空間の安全確保のため、道路照明及び防犯灯の維持管理を行う。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
防犯灯新規設置数	基	45	16	30	30

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
側溝清掃業務	←設計	起工・契約					施工					→竣工
街路樹管理業務	←起工・契約						施工					→施工
防犯灯維持管理業務	←起工・契約						施工					→施工
浸水検知システム	←起工・契約						施工					→施工

進捗状況	・側溝清掃業務 ・街路樹剪定などの維持管理 7単市第2-1号主要道路等街路樹管理業務委託 ほか 7件（令和8年2月完了） ・道路用地（草刈）の維持管理 7単市第1-1号 道路除草業務委託 ほか 6件（令和7年12月完了） ・道路照明及び防犯灯の維持管 要望による ・浸水検知システム 年2回の点検の実施。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	引き続き、計画的で適切な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	23,212	0	0	R7事業費(実績)については、【道路維持補修に要する経費】に計上されていた道路清掃委託料や街路樹管理委託料等の道路管理に要する費用を【道路管理に要する経費】に計上した結果、178,920千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	9,800	0	0	
	その他	1,865	20,918	21,678	
	一般財源	25,477	218,356	252,886	
事業費計(A)		60,354	239,274	274,564	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	13,440	13,440	13,440	
	その他職員人件費	60,101	20,451	25,175	
人件費計(B)		103,297	65,193	71,543	
トータルコスト(A+B)		163,651	304,467	346,107	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	地籍調査事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
地籍調査を行うことにより、土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積の明確化を図ることで境界紛争の減少や、災害復旧への寄与を図ることができる。 ・白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区の地籍成果の認証請求・法務局送付を実施する。(面積:18ha) ・本郷Ⅱ地区の地籍成果の閲覧を実施する。(面積:13ha) ・本郷Ⅲ地区の現地調査、地籍測量を実施する。(面積:14ha)

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	13	14	8	17
地籍調査新規地区の総筆数	筆	843	426	315	950
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	16.6	16.7	16.8	17.1

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区				←								→
				認証請求							認証・法務局送付	
本郷Ⅱ地区		←										→
	起工・契約			地籍図・地籍簿作成					閲覧			
本郷Ⅲ地区		←										→
	起工・契約			現地調査					地籍測量			

進捗状況	3年目を迎えた白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区については予定通り県への認証請求を行った。 また、2年目の本郷Ⅱ地区についても予定通り実施することができた。 新規地区である本郷Ⅲ地区(本郷三丁目一部)については、市の中心市街地に隣接している地域であり、地籍調査推進委員や関係権利者の理解と協力により予定通り実施することができた。 ○本市の調査実施済面積 16.7ha(令和7年度末現在) ※1 地籍調査事業の進捗率=調査実施面積/調査対象面積	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	地籍調査事業は長期的な事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				本郷Ⅲ地区については地番区域(大字)、面積及び筆数等を総合的に判断し決めており、年度により面積や筆数が変動するため、昨年度に比べ2,940千円減となった。
	県支出金	14,205	12,375	24,943	
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,219	5,226	9,469	
事業費計(A)		21,424	17,601	34,412	
人件費	正規職員数	4	4	3	
	業務時間	7,680	7,680	5,760	
	その他職員人件費			1,920	
人件費計(B)		24,684	25,567	21,792	
トータルコスト(A+B)		46,108	43,168	56,204	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市営住宅管理運営事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃の公営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進を図る。 ・民間アパートの借上や補助制度、セーフティーネット住宅制度等を活用することによる、新しい制度の導入の検討を進める。 ・旧市営住宅用地を測量し売却に向け管財課へ移管する。 ・毎月、未納者に対して納付指導等を行い、収納率を向上させる。 ・市営住宅を入居可能な状態へ整備ができ次第随時募集し、住宅困窮者に対し住宅を提供していく。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
家賃収納率(現年度)	%	98	96	97	97
入居用修繕戸数	戸	0	2	2	2

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新しい制度の導入検討	←											→
旧市営住宅用地移管手続き	←											
	起工・契約											
毎月の未納者納付指導	←											→
市営住宅入居募集	←											→

進捗状況	旧市営住宅用地移管手続きに関し、旧押切市営住宅用地の返還に伴う、測量を年度計画通り実施する事が出来た。 毎月の督促状の発送、電話、戸別訪問により、未納者に対してきめ細やかな納付指導を実施し、その結果、目標値に限りなく近づくことが出来た。 市営住宅入居募集については目標通り、募集を行ったが入居数は一戸にとどまった。 引き続き、新しい制度の導入や入居募集については継続的に調査や修繕を行っていく。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	継続して適切で計画的な維持管理を行うとともに、今後の市営住宅のあり方について、いろいろな事例等を調査研究しながら検討していく。また、未収債権についても継続的に調査を行い、債権管理条例に基づき、適切な対応を行っていく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和6年度には、借地部分の返還に伴う造成工事を行ったため、令和7年度に比べ、20,725千円減額となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他	19,929	19,408	18,916	
	一般財源	32,359	12,155	21,224	
事業費計(A)		52,288	31,563	40,140	
人件費	正規職員数	2	3	3	
	業務時間	3,840	5,760	5,760	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		12,342	19,175	19,872	
トータルコスト(A+B)		64,630	50,738	60,012	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【ふれあい道路(市道0106号線)】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は広域的な幹線道路であり、地域防災計画の中でも第2次緊急輸送道路として位置付けられているが、近年戸頭地区の約1.4kmにおいて路線全体でわだちやクラック等が発生し舗装が著しく破損してきており、部分補修では対応しきれないことから、令和6年度から工事を実施している。 円滑な通行を確保するため、道路表面のアスファルトの下の層(路盤)から改良を行い、アスファルト舗装(2層～3層)にするなど抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる道路整備を進める。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路維持工事(3工区)			設計	起工	契約							竣工
道路維持工事(4工区)			設計	起工	契約							竣工
進捗状況	6月指名委員会に上程し、一般競争入札にて7月中旬に請負業者が決定した。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、9月から施工が開始され、3月に工事が完了している。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	令和5年度に測量及び詳細設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和6年度から工事を実施し、3カ年かけ令和8年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	18,187	26,577	14,219	年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金				
	地方債	143,400	155,900	234,600	
	その他				
	一般財源	11,960	17,426	26,181	
事業費計(A)		173,547	199,903	275,000	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,607	1,665	1,725	
トータルコスト(A+B)		175,154	201,568	276,725	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【桑原（市道4042号線）】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は、朝夕の通勤時間帯に桑原地区から国道6号へ出るための抜け道となっており、自動車・バイク・自転車等が多数通過しているが、幅員が狭い上に歩道がなく、通学する児童・生徒と当区間を通る車両が急接近する等、非常に危険な状況であるため、令和5年度から工事を実施している。 側溝の入れ替えや舗装の打ち替えを行うとともに、路側帯のカラー化や路面標示により、ドライバーに視覚的に認識してもらえるよう、抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる通学路整備を進める。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路改良工事			↔ 設計	↔ 起工	↔ 契約							↔ 竣工
進捗状況	6月指名委員会に上程し、一般競争入札にて7月中旬に請負業者が決定した。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、12月から施工が開始され、3月に工事が完了している。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	令和4年度に測量及び詳細設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和5年度から工事を実施し、4カ年かけ令和8年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	0	27,043	11,230	年度整備計画により、事業費が減となった。
	県支出金				
	地方債	1,700	20,800	12,300	
	その他				
	一般財源	235	2,438	1,474	
事業費計(A)		1,935	50,281	25,004	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,607	1,665	1,725	
トータルコスト(A+B)		3,542	51,946	26,729	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【3・5・23号北敷・沼附線に要する経費】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は茨城県事業である北浦川緑地整備と一体的に整備を進めている路線であり、公園へのアクセス利用が見込まれている路線となっている。 令和元年4月には北浦川緑地内に人工芝サッカーグラウンドが供用開始され、本路線の整備が完了できれば、より一層の利便性の向上が図られること、また藤代南中学校の通学路としても安全が確保されることから早急に整備を進める。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地買収	←→ 契約											
軟弱地盤対策工事			←→ 設計	←→ 起工	←→ 契約							→ 竣工
横断ボックスカルバート工事			←→ 設計	←→ 起工	←→ 契約							→ 竣工

進捗状況	1 地権者分の建物移転補償及び用地買収を行った。また、工事に関しては、軟弱地盤対策を必要とする都市計画道路であるため、杭基礎による地盤改良工事を591本中32本実施し、併せて横断ボックスカルバートの敷設工事を行った。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	用地買収及び物件移転補償を必要とする地権者が1名となり、引き続き交渉を継続する。また、工事については全線において軟弱地盤対策を必要とするため、杭基礎による地盤改良工事と、地盤の圧密沈下を促進させる盛土工事を並行して進めていき、都市計画道路から北浦川緑地内へのアクセスが可能となる道路改良工事を最短工程で進めていく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金		123,121	74,907	年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金				
	地方債		90,500	55,100	
	その他				
	一般財源	1,210	10,241	6,188	
事業費計(A)		1,210	223,862	136,195	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,607	1,665	1,725	
トータルコスト(A+B)		2,817	225,527	137,920	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【井野団地外周道路（市道0115号線他）】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は路線バスの運行経路となっているが、既存の道路は大型バスの頻繁な走行に耐えうる構造になっていないことから、舗装が著しく破損してきており、令和3年度から工事を実施している。 円滑な通行を確保するため、道路表面のアスファルトの下の層（路盤）から改良を行い、抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる道路整備を進める。

成果指標	単位	R6 （実績）	R7 （実績）	R8 （目標）	R9 （目標）
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路改良工事		↔ 設	↔ 起工	↔ 契約								↔ 竣工
路線測量業務委託			↔ 設計	↔ 起工	↔ 契約		↔ 竣工					
地盤調査業務委託				↔ 設	↔ 起工	↔ 契約		↔ 竣工				

進捗状況	【道路改良工事】 6月指名委員会に上程し、一般競争入札にて7月中旬に請負業者が決定した。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、9月中旬から施工が開始され、令和8年5月末に工事が完了予定である。 【路線測量業務委託】 7月指名委員会に上程し、指名競争入札にて8月上旬に請負業者が決定した。8月中旬から打ち合わせ協議を開始し、11月上旬に業務委託が完了した。 【地盤調査業務委託】 8月指名委員会に上程し、指名競争入札にて9月上旬に請負業者が決定した。9月中旬から打ち合わせ協議を開始し、12月上旬に業務委託が完了した。	進捗度	B （概ね予定どおり進んでいる）
------	--	-----	---------------------

今後の方向性	
継続	平成30年度に事業を開始し、令和元年度に詳細設計を実施、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和3年度から工事を実施し、8カ年かけ令和10年度事業完了予定である。

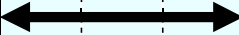
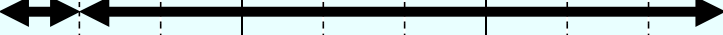
事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金				
	地方債	125,300	115,000	144,600	
	その他				
	一般財源	11,399	12,820	16,143	
事業費計(A)		136,699	127,820	160,743	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,607	1,665	1,725	
トータルコスト(A+B)		138,306	129,485	162,468	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（下高井水砂雨水排水整備事業）						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
本事業について、当該地区については県道守谷藤代線と市道1-1251号線の交差点付近が地形的に一番低く、すり鉢状になっており、加えて上流部では宅地化が進み雨水が浸透する空地から、アスファルトやコンクリートによる不浸透地区が増えたことによる雨水流出の増加、下流部でも民間の埋め立て等の開発が多発していることから、年々排水量が制限され雨水による影響が大きくなっており、対策が急務となっている。下高井地区の浸水被害の軽減を目的に、既存水路を前提とした排水ルートの検討・整備を行い、市民要望への迅速な対応を第一優先とし事業を行うものとする。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関係機関協議												
測量調査												
				契約				委託期間				
進捗状況	令和7年度は、流末既存水路を利用することを前提とした排水ルートを選定する必要があることから、測量調査を進め、令和8年度上流部の実施設計に向けた基礎データの収集を行った。									進捗度	B (概ね予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	令和8年度については、個別要望に対し迅速に効果が得られることを目的に、上流部の要望箇所（流域）の対策に絞り、過年度調査した流末の既存水路の流下能力を前提とした設計をもとに、暫定的な個別事業を行っていく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和7年度は、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、年度計画による流末の詳細設計及び地質調査を実施した結果、24,384千円の増額となった。また、令和8年度事業費については、上流部の直接的な要望箇所（流域）の対策に絞り、実施設計の見直しを行った結果、3,409千円の減額となった。
	県支出金				
	地方債	6,500	30,600	27,100	
	その他				
	一般財源		146	92	
事業費計(A)		6,500	30,746	27,192	
人件費	正規職員数	4	4	4	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,857	3,995	4,140	
トータルコスト(A+B)		10,357	34,741	31,332	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（排水機場・双葉ポンプ場改修事業）						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
本事業について、現在取手市では17樋管・4機場を管理を行っており、うち利根川上流河川事務所管理5樋管、下館河川事務所管理3樋管を抜いた9樋管4機場について、施設の維持修繕管理を行っている。また、取手市は地形上地盤の高低差が多数あり、自然流下が困難なところに、市内37箇所に排水ポンプを設置し強制排水による雨水対策を行っており、双葉地区の排水ポンプ第1・2機場については、排水対策課で管理するポンプ施設のなかで、施設規模・排出量とも大きく重点整備箇所として位置づけていることから、令和4年度排水機場改修事業、令和7年度双葉ポンプ場改修事業として、排水機場・双葉ポンプ場改修事業として事業を開始。年次点検に基づいた修繕計画により、随時機場及びポンプ場の改修工事を実施し、施設の適正な維持管理を図る。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
添排水機場改修工事				契約					工事期間			
双葉ポンプ場改修工事				契約					工事期間			

進捗状況	年次点検に基づいた修繕計画により、令和7年度は添排水機場No. 3ポンプ自家発電機他改修工事及び双葉第1ポンプ場改修工事を実施。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	令和8年度についても、年次点検に基づいた修繕計画により、随時機場及びポンプ場の改修工事を実施し、施設の適正な維持管理を図る。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和7年度は、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、年次点検に基づいた修繕計画により137千円の減額となった。また、令和8年度事業費についても、年次点検に基づいた修繕計画により古戸排水機場及び双葉ポンプ場の改修工事を計画しており結果、60,063千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	79,600	79,400	139,200	
	その他				
	一般財源	95	20	138	
事業費計(A)		79,695	79,420	139,338	
人件費	正規職員数	4	4	5	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,857	3,995	4,140	
トータルコスト(A+B)		83,552	83,415	143,478	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(藤代地区雨水排水事業)						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
本事業は、平成24年より流末を確保する目的で、小林住宅に大型のポンプ施設を設置。それ以降は流末の確保したのを受け、各年度随時規模の大きい冠水箇所を優先してU字溝の布設工事を実施、併せて流末の既設水路の改修工事を行い、当該地区の道路冠水被害の緩和を図る。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家屋事前調査					契約	委託期間						
工事					契約	工事期間						
ガス管移設補償										ガス移設補償		

進捗状況	令和7年度はU字溝及び雨水暗渠の布設工事L≒459mを実施。既設埋設管の移設に伴い工期の延伸を行ったが、排水整備計画に基づき、引き続き事業を実施していく。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	令和8年度については、排水整備計画に基づいて、継続してU字溝及び雨水暗渠の布設工事を実施。併せて流末の既設水路の改修工事も実施するものとする。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和7年度は、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、年次計画による雨水排水整備工事を実施した結果、14,084千円の増額となった。また、令和8年度事業については、前年度繰越分と併せてU字溝の布設工事と流末の既設水路の改修工事を実施することから結果、115,153千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	9,200	21,600	136,600	
	その他				
	一般財源		1,546	1,554	
事業費計(A)		9,200	23,146	138,154	
人件費	正規職員数	4	4	4	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,857	3,995	4,140	
トータルコスト(A+B)		13,057	27,141	142,294	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（排水路維持管理事業）						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
本事業について、現在取手市では豪雨による道路冠水や浸水被害からの市民を守るため、雨水幹線及び市内35箇所のポンプ施設や調整池22箇所の機能維持を目的に、雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行い、施設の適正な維持管理を図る。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
ポンプ施設点検件数	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
維持管理(点検・修繕)												
維持管理(除草・伐採)												
維持管理(清掃・浚渫)												

進捗状況	雨水幹線39路線・ポンプ施設35施設・調整池22箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。併せて専門業者にポンプ施設の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行う。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	豪雨による道路冠水や浸水被害からの市民を守るため、雨水幹線及び市内35箇所のポンプ施設や調整池22箇所の機能維持を目的に、雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行い、施設の適正な維持管理を図る。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和7年度は、施設の機能維持を目的に、除草・汚泥浚渫・雑木伐採、修繕改修を行った結果、7,053千円の増額となった。また、令和8年度事業費についても、継続して施設の機能維持を目的に、除草・汚泥浚渫・雑木伐採、修繕改修をおこなう必要があり、9,603千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他	919	4,439	2,873	
	一般財源	59,482	62,673	71,957	
事業費計(A)		60,401	67,112	74,830	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	2,976	2,976	3,418	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,565	9,907	11,792	
トータルコスト(A+B)		69,966	77,019	86,622	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民と協働による公園維持管理事業（都市公園施設長寿命化対策事業）						
総合計画 重点施策	市民と協働でつくる地域社会	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 市が管理する老朽化が進む公園施設に対して安全対策の強化、ライフサイクルコスト縮減並びに補修・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全型管理のもとで、既存ストックの長寿命化対策および計画的な補修・更新等を行うことを目的として平成28年度に策定した「取手市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、都市公園の施設を補修及び更新していく。 【概要】 老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などと協議を行い、地元ニーズを反映した公園の計画・再整備を行う。また、維持管理協定等について合意形成を図り、利用者が望む公園を提供する。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
都市公園長寿命化対策事業を実施する公園数及び施設数	公園	17	9	10	10
	施設	40	10	10	10

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
茨城県協議	●											
工事			←									→
進捗状況	【完了：令和8年3月】 ・公園施設長寿命化（更新）工事 南三丁目しいの木公園他8公園 （複合遊具1箇所・滑り台7箇所・ブランコ2箇所）									進捗度	A （予定どおり進んでいる）	

今後の方向性	
継続	公園施設長寿命化計画に基づき、最新の点検結果を反映して、公園施設の補修及び更新を計画的かつ効果的に実施する。 今後も継続していくことで、市民とともに協働して公園を作り上げ、幅広い年代の方々に親しみを感じて公園を提供する。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	27,100	14,294	10,019	更新箇所の見直しによる更新施設整備数の減少により減額となった。
	県支出金				
	地方債	24,300	12,800	9,000	
	その他	3,523	1,494	1,019	
	一般財源				
事業費計(A)		54,923	28,588	20,038	
人件費	正規職員数	3	4	4	
	業務時間	3,000	4,000	4,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,642	13,316	13,800	
トータルコスト(A+B)		64,565	41,904	33,838	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	公園維持管理事業（遊具及び樹木の点検）						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため。 【概要】 遊具及び樹木（公園施設）の点検を実施する。

成果指標	単位	R6 （実績）	R7 （実績）	R8 （目標）	R9 （目標）
遊具の点検箇所数 （3回／箇所）	箇所	154	153	155	155
施設及び樹木の点検実施箇所数 （2回／箇所）	箇所	219	219	222	222

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門技術者点検						●						
施設管理者点検				●					●			
進捗状況	・専門技術者による定期点検（遊具） 令和7年7月～令和7年11月 1回完了 ・管理者による安全点検（遊具、施設及び樹木） 令和7年6月・令和7年12月 2回完了									進捗度	A （予定どおり進んでいる）	

今後の方向性	
継続	公園の安全安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				公園遊具定期点検業務委託の契約金額により、令和7年度は増額となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,014	3,179	4,543	
事業費計(A)		3,014	3,179	4,543	
人件費	正規職員数	7	6	6	
	業務時間	560	560	560	
	その他職員人件費	360	360	420	
人件費計(B)		2,160	2,224	2,352	
トータルコスト(A+B)		5,174	5,403	6,895	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	緑化推進事業					
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図る。
【概要】 取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。 また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	4	4	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業	団体	10	10	10	10

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
緑の募金事業													
取手ガーデンロード花いっぱい事業													
緑化ボランティア団体との連携事業(10団体)													
緑の審議会													
進捗状況	[緑の募金事業] 街頭募金・学校募金・企業募金・職場募金の4事業を実施することができた。集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。 [取手ガーデンロード花いっぱい事業] 令和7年6月 コスモス種まき 令和7年11月 ポピー種まき 計2回を実施し、ボランティアのかたの協力のもと、取手緑地運動公園内にあるガーデンロードにきれいな花を咲かせ、河川景観の向上を図ることができた。 [緑化ボランティア団体との連携] 市内緑化推進団体 計10団体との連携事業を実施した。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	1,000	1,000	
	一般財源				
事業費計(A)		1,000	1,000	1,000	
人件費	正規職員数	2	3	4	
	業務時間	1,860	1,860	1,860	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		5,978	6,192	6,417	
トータルコスト(A+B)		6,978	7,192	7,417	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	小堀の渡し運航事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要

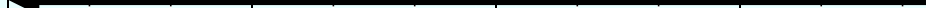
【事業目的】

利根川を挟んだ両岸を一体的自然空間として活用し、観光船としての利用促進を図る。

【概要】

観光船としての「小堀の渡し」を市内外へ情報発信するため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントと連携した取り組みや、小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を実施し、多くの方に観光船として取手の魅力を周知する。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
連携事業数	事業数	2	2	2	2
小堀の渡しミニツアー	実施回数	11	6	15	15

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験乗船		●						●				
小堀の渡しミニツアー												

進捗状況	・令和7年4月29日の第46回こども天国、令和7年11月1日の第42回とりで産業まつりにおいて、無料体験乗船を実施し運航事業をPRすることができた。 ・「小堀の渡しミニツアー」を、年間6回実施し運航事業をPRすることができた。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	---------------------------

今後の方向性

継続	小堀の渡しの情報発信をするため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントでの連携事業及び小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を継続して実施する。
----	---

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和7年度は渡船の定期検査に伴い増額となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他	10,589	10,420	10,629	
	一般財源	4,322	9,133	5,522	
事業費計(A)		14,911	19,553	16,151	
人件費	正規職員数	2	3	4	
	業務時間	2,200	2,200	2,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		7,071	7,324	7,590	
トータルコスト(A+B)		21,982	26,877	23,741	